

「試す」の方法としては、①部分的に短時間で試す。②実習を繰り返す。③完成品を利用する。④実験する。の4つを押さえた。この中から題材に合った方法を選び、1つあるいは2つ程度を題材の中に位置付けることで、子供たちは意欲的に活動することができるようになるであろうと考えた。

(2) 学習課題に気づき、学習の見通しを持つとは  
「これを解決したい」といった願いを芽生えさせるために「試す」活動を取り入れる。そこで発見したことや驚きは、学習課題作りに大きく関わってくる。その活動により「この題材ではこんなことができるようになりたい」「こんな学習をしてみたい」という子供の願いをとらえ、「試す」活動の内容や方法の工夫を図る。

(3) 自信を持って、意欲的に活動するとは  
「試す」学習で調べたことや計画したことを確かめたり、修正したりすることで、安心して活動に取り組み、自信をもって課題解決に取り組む姿を具現したい。

### Ⅲ 研究の実際と考察

#### 1 年間指導計画における「試す」活動の位置付け

学期	テーマ	題材名	小	「試す」活動
一学期	生活を計画的に	1 生活時間や買い物の工夫をしよう (5)	1 家庭生活と生活 2 家庭生活と	
		2 計画的に製作しよう (12)	1 スプーンや 2 スプーン	③ スプーンの完成品をほどこく ④ スポンジによる汚れの実験
		3 計画的な食事作りをしよう (7)	1 ご 2	① だしじるの味とみそを入れたときの ② 「ぬ水」の有無、「むらし」の有無に
二学期	めよざりしよてい生活のしか	1 衣服の選び方と手入れの工夫をしよう (8)		① 購入場面の「お-7」レイン ② 既成服着用による授業での衣服の着 ③ くつ下による水と洗剤液の汚れの着 ④ 洗剤液による洗剤の持つ性質実験
		2 調理の工夫をしよう (10)		① 煎餅が調理した「クッキー」試食 ② じゃがいもの「大きさ」「加熱時間」加減

#### 2 検証授業計画 1

(1) 題材名 「衣服の選び方と手入れの工夫をしよう」

(2) 本時のねらい

- くつ下の汚れ成分に気づき、きれいにしようとする意欲をもつことができる。
- 手洗いによる洗たくの手順が分かる。

#### 3 検証授業計画 2

(1) 題材名 「調理の工夫をしよう」  
(2) 本時のねらい

- ゆでたじゃがいもを試食した感想や気付いたことから新しい課題を見付けたり、ゆで加減について調べる実験方法を考え、実験することができる。

#### 4 検証授業の実際と考察

(1) 検証の観点

- ① 題材における「試す」活動の位置付けが効果的であったかをワークシートの記入状況や活動の様子により考察する。
- ② 「試す」活動が学習の見通しをもたせるのに有効であったかどうかを活動の様子や意識調査で確かめる。
- ③ 「試す」活動が主体的に取り組む学習課題づくりに効果があったかどうかを活動の様子やワークシートの記入状況、意識調査により考察する。

(2) 授業の概要

##### 検証授業 1

- 汚れ落ちに関する気づきを大切にするために「実際に洗う」の「試す」活動を本実習の前に取り入れた。汚れたくつ下をビーカーの真水に入れてこすると、水がにごることを確認させ、まだ完全に汚れが落ちていない事実から、洗剤の必要性に気付かせた。(資料1)
- 後半、くつ下の手洗いをして、透明だった洗剤液が見る間に真っ黒になっていく様子に、汚れ落ちの具合を目で確認することができた。(資料2)